



ほけんだより 6月



2015/6/2 厚生館保育園

さわやかな季節のはずが、熱中症を心配するような暑い暑い5月でしたね。

6月に入るとそろそろ梅雨の季節、梅雨と言えば、アジサイのイメージが強いですね。土の性質で花の色が青くなったり赤くなったりすると言う話を聞いて、小さい頃は、帰り道でよく違う色のアジサイを探したものです。

お母さんも子ども達もふさぎ込みがちな季節ではありますが、楽しいことを探しながら、明るく元気に過ごしたいものですね。

5月に流行した感染症

- ・アデノウイルス感染症 ひよこ5名 ・プール熱(咽頭結膜熱) ひよこ4名
- ・感染性胃腸炎(疑い含む) ひよこ4名 おひさま1名 うさぎ2名

※5月は、0才児クラスの感染症が拡大してしまいました。職員の手洗いを徹底し、今後も感染予防に努めていきます。尚、0才児クラスにおいては、室内の清掃、おもちゃの消毒は日常的に実施しています。

6月は歯の衛生週間

知っていましたか? 「歯」は、からだ全体の健康に関係しています。

歯(口)の健康に気をつけていると、むし歯や歯肉炎、歯周病を予防できるだけではなく。最近の研究では、糖尿病や脳の血管の予防につながったり、入院してもその日数が短くなったりすることがわかっています。

「歯」は、どのくらいかたい?

地球上で一番かたい天然の物質は、ダイヤモンドです。ダイヤモンドのかたさを10とすると…

歯のエナメル質 → 6~7

歯の象牙質 → 5~6

くらいです。

鉄は4、金は2なので、歯は鉄よりかたいんです。

口の中には、こんな働きがあります。

●酸の中和

唾液には、歯を溶かす酸の効果を弱めるはたらきがあります。唾液がたくさん出る人は、むし歯になりにくいといわれています。



●再石灰化

唾液は、一度溶けてしまった歯を、もとの状態に戻そうとする再石灰化というはたらきがあります。

歯みがきはいつ頃から？…まずは、ガーゼで歯みがきに慣れましょう！

歯が生えて間もないころは、ブラッシングしようとしても、口の中に物が入ると抵抗したり、歯肉をこっすてしまったりして、うまくいかないことがあります。まずは、口の中に物を入れることに慣れさせましょう！指にガーゼを巻きつけて、歯や口の中を拭くだけでもかまいません。



仕上げは保護者の方がお願いします！

歯の表面についてのプラーク（細菌の塊）を取り除くことと、歯をみがくことは違います。子どもは、プラークを除去できるほど、手先を器用に動かすことはできず、子ども自身による歯みがきは、むし歯予防という観点からは十分ではありません。小学校3年生ぐらいまでは、保護者の方に歯みがきの仕上げをお願いいたします。

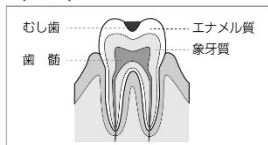


★★★上級

むし歯の状態を理解しよう！

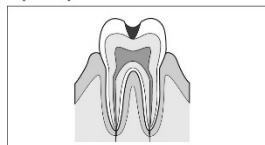
むし歯とは、むし歯菌のつくり出す酸が、歯を溶かすことをいいます。

<C1>



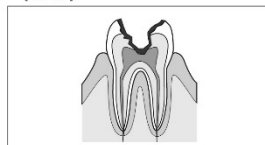
むし歯のつくる酸でエナメル質が溶けています。

<C2>



象牙質まで溶けてしまいました。

<C3>



歯の神経のところまで溶けてしまいました。

6月保健行事

- 4日(木) 地域身体測定
- 5日(金) 中川児童館、地域ベビーマッサージ
- 8日(月) 身体測定(2～5才児)
- 10日(水) 身体測定(0,1才児)
- 12日(金) 地域ベビーマッサージ・育児相談
- 15日(月) 地域・全園児内科健診
- 16日(火) 歯科健診(3～5才児)
- 17日(水) 歯科健診(0～2才児)
- 19日(金) 地域ベビーマッサージ・育児相談
- 26日(金) 地域ベビーマッサージ・育児相談

